



GR DIGITAL III で追加・変更になった機能について

この度は GR DIGITAL III をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、付属の「GR DIGITAL III 使用説明書（カメラ編）」で追加となった機能について説明しています。参照しているページは、「GR DIGITAL III 使用説明書（カメラ編）」での関連ページです。

1 日付別再生機能の追加

再生モードの一覧表示（☞P.37）で 81 コマ表示にしている場合に、再度 ☒（サムネイル表示）ボタンを押すと、日付別表示に変わります。

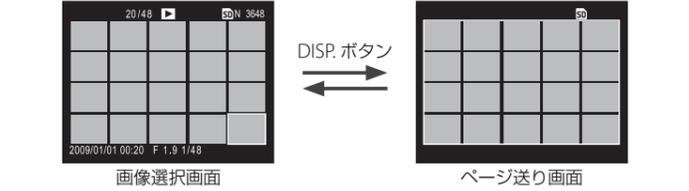


7 日以内に保存された画像には、日付のほかに「本日」、「昨日」または「XX 日前」と表示します。

2 一覧表示（☞P.37）時のページ送り機能の追加

再生モードで一覧表示（20 コマ表示、81 コマ表示、日付別表示）にしている場合、画像選択画面とページ送り画面を切り替えられるようになりました。

画像選択画面とページ送り画面の切り替えは DISP. ボタンで行います。



4 [ハイコントラスト白黒] ☒ の追加

シーンモード（☞P.52）に [ハイコントラスト白黒] が追加されました。通常の白黒撮影（☞P.77）よりもコントラストを強調して撮影するときに使います。フィルムカメラで超高感度フィルムを使用して撮影したり、増感現像したような、ざらついた印象の画像を撮影できます。

シーンモードで [ハイコントラスト白黒] を選んだ場合に選択できる撮影設定メニュー項目は以下の通りです。

設定項目	初期設定値	参照先
コントラスト	MAX	—
周辺減光	OFF	—
+ 通常撮影	OFF	—
画質・サイズ	N3648(10M)	P.65
フォーカス	マルチ AF	P.67
スナップフォーカス距離	2.5m	P.73
フルプレススナップ	ON	P.74
ブレ AF	OFF	P.75
測光	マルチ	P.76
フラッシュ調光補正	0.0	P.87
フラッシュマニュアル発光量	1/2	P.88
フラッシュシンクロ設定	先幕	P.89
インターバル撮影	—	P.91
日付入れ撮影	OFF	P.92
露出補正	0.0	P.93
ISO 感度	AUTO	P.100
拡大表示倍率 (MF)	2 倍	—

☒ 注意

- [画質・サイズ]（☞P.65）で RAW モードは選択できません。
- [ノイズリダクション]（☞P.90）は使用できません。

コントラスト

[ハイコントラスト白黒] で記録する画像のコントラストを MAX、−1、−2 から設定できます。

周辺減光

四隅を暗くする効果の度合いを弱、強、OFF から設定できます。

ページ送り画面でページを切り替えるには、以下のように操作します。

20 コマ表示、81 コマ表示時

▲▼◀▶ ボタンを押すか、ADJ. レバーを左右にたおす、またはアップダウンダイヤルを回します。

1 枚表示に戻すには、画像選択画面でファイルを選んでから ADJ. レバーを押すか、Q（拡大表示）ボタンを 1 回（20 コマ表示時）または 2 回（81 コマ表示時）押します。

日付別表示時

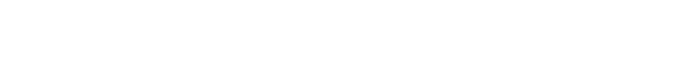
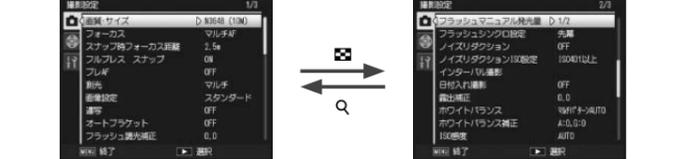
▲▼ ボタンを押すか、アップダウンダイヤルを回すと、ページ送りできます。◀▶ ボタンを押すか、ADJ. レバーを左右にたおすと、日付送りできます。

1 枚表示に戻すには、画像選択画面でファイルを選んでから ADJ. レバーを押すか、Q ボタンを 3 回押します。

3 メニューのページ送り機能の追加

撮影設定メニュー（☞P.61）、セットアップメニュー（☞P.132）、[マイセッティング編集]（☞P.138）の選択項目を表示している場合、ページを切り替えられるようになりました。

ページの切り替えは、☒/Q ボタンで行います。



5 [クロスプロセス] ☒ の追加

シーンモード（☞P.52）に [クロスプロセス] が追加されました。実際の色とは大きく異なる色合いの画像を撮影できます。どのような色合いにするかは撮影設定メニューの [色調] で設定できます。

シーンモードで [クロスプロセス] を選んだ場合に選択できる撮影設定メニュー項目は以下の通りです。

設定項目	初期設定値	参照先
色調	ベーシック	—
コントラスト	普通	—
周辺減光	OFF	—
+ 通常撮影	OFF	—
画質・サイズ	N3648(10M)	P.65
フォーカス	マルチ AF	P.67
スナップフォーカス距離	2.5m	P.73
フルプレススナップ	ON	P.74
ブレ AF	OFF	P.75
測光	マルチ	P.76
フラッシュ調光補正	0.0	P.87
フラッシュマニュアル発光量	1/2	P.88
フラッシュシンクロ設定	先幕	P.89
インターバル撮影	—	P.91
日付入れ撮影	OFF	P.92
露出補正	0.0	P.93
ホワイトバランス	マルチパターン AUTO	P.94
ホワイトバランス補正	A:0,G:0	P.98
ISO 感度	AUTO	P.100
拡大表示倍率 (MF)	2 倍	—

☒ 注意

- [画質・サイズ]（☞P.65）で RAW モードは選択できません。
- [ノイズリダクション]（☞P.90）は使用できません。

色調

クロスプロセスの効果をベーシック、マゼンタまたはイエローから選択できます。

☒ 注意

[マゼンタ] または [イエロー] を選択した場合、ホワイトバランスや露出の設定によってはマゼンタまたはイエローの効果が出ないことがあります。

コントラスト

[クロスプロセス] で記録する画像のコントラストを +2、+1、普通から設定できます。

周辺減光

四隅を暗くする効果の度合いを弱、強、OFF から設定できます。

6 [拡大表示倍率 (MF)] 機能の追加

撮影設定メニュー（☞P.61）に [拡大表示倍率 (MF)] 機能が追加されました。[フォーカス]（☞P.67）で [MF] を選択している場合、MENU/OK ボタンを長押しすると、画面中央部のみ拡大表示されます（☞P.69）。その場合の拡大表示倍率を 2 倍、4 倍から選択できます。

7 [フォーカス] 設定項目の追加

撮影設定メニュー（☞P.61）の [フォーカス]（☞P.67）の設定項目として、[被写体追尾 AF] が選択できるようになりました。[被写体追尾 AF] は、[クロスプロセス] 以外のシーンモードでは使用できません。

シャッターボタンを半押しすると、画像モニターの中央にある枠内の被写体が追尾対象として設定され、緑色のターゲットマークが表示されます。追尾対象が見つからない場合、中央の枠が赤く点滅します。シャッターボタンを離すか、シャッターボタンを全押しして撮影すると、自動追尾は解除されます。追尾対象がフレームから外れるとターゲットマークが赤く点滅し、自動追尾が解除されます。



11 [オートブラケット] 機能の変更

撮影設定メニュー（☞P.61）の [オートブラケット]（☞P.83）の設定項目が一部変更されました。[ON ± 0.3] が [AE-BKT 1/3EV] に、[ON ± 0.5] が [AE-BKT 1/2EV] に変更されます。また、設定項目として [CONTRAST-BKT] が追加されました。

[AE-BKT 1/3EV] または [AE-BKT 1/2EV] を選択すると、露出差を設定して 3 枚の画像を記録できます。

1 撮影設定メニューで [オートブラケット] を選択し、▶ ボタンを押す

2 [AE-BKT 1/3EV] または [AE-BKT 1/2EV] を選択し、▶ ボタンを押す

- 露出差設定画面が表示されます。

3 ◀▶ ボタンで項目を移動し、▲▼ ボタンで値を設定する

- [AE-BKT 1/3EV] の場合は 1/3EV ずつ、[AE-BKT 1/2EV] の場合は 1/2EV ずつ露出差を設定できます。
- 複数の項目で同じ露出値を設定した場合、1 枚のみ撮影されます。

4 MENU/OK ボタンを押す

- 設定が完了し、撮影設定メニューに戻ります。

[CONTRAST-BKT] では、コントラストを変化させた 3 枚の画像を記録できます。

1 枚目の画像のコントラストを基準に、2 枚目と 3 枚目のコントラストを +4 ～ −4 の間で設定できます。

1 撮影設定メニューで [オートブラケット] を選択し、▶ ボタンを押す

2 [CONTRAST-BKT] を選択し、▶ ボタンを押す

- [コントラストブラケット設定] 画面が表示されます。

3 ◀▶ ボタンで項目を移動し、▲▼ ボタンで値を設定する

☒ 注意

- 追尾対象の被写体の動きが速い場合や、暗すぎる環境では追尾できないことがあります。
- AE/AF ターゲット移動機能（☞P.70）、[マクロターゲット]（☞P.72）は使用できません。
- [オートブラケット]（☞P.83）、[インターバル撮影]（☞P.91）を設定していても、無効になります。

8 [スナップ時フォーカス距離] 設定項目の追加

撮影設定メニュー（☞P.61）の [スナップ時フォーカス距離]（☞P.73）の設定項目として、[1.5m] が選択できるようになりました。

設定項目					
1m	1.5m	2.5m	5m	∞	

9 [ノイズリダクション] 設定項目の追加

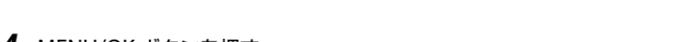
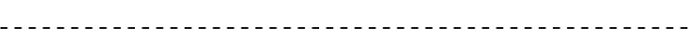
撮影設定メニュー（☞P.61）の [ノイズリダクション]（☞P.90）の設定項目として、[MAX] が選択できるようになりました。撮影時または再生時の画面に表示されるマークも、選択した設定によって変更されます。

設定項目				
OFF（マークなし）	弱（ NR ▲1）	強（ NR ▲1）	MAX（ NR ▲1）	

10 [ホワイトバランス] 設定項目の追加・変更

撮影設定メニュー（☞P.61）の [ホワイトバランス]（☞P.94）の設定項目が一部変更されました。従来の [白熱灯] が [白熱灯 2] に変更され、[白熱灯 1] が追加されました。

[白熱灯 1] または [白熱灯 2] は白熱灯下での撮影時に使用しますが、[白熱灯 2] は [白熱灯 1] に比べて赤みを残して撮影します。



4 MENU/OK ボタンを押す

- 設定が完了し、撮影設定メニューに戻ります。

☒ メモ

撮影設定メニュー（☞P.61）の [画像設定]（☞P.77）で [白黒]、[白黒 (TE)]、[設定 1] または [設定 2] を選択し、[コントラスト] を設定している場合、2 枚目と 3 枚目に設定できる値の範囲が変化します。

☒ 注意

シーンモード（☞P.52）では使用できません。

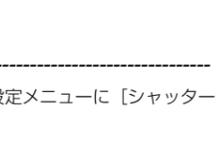
12 [シャッタースピード自動シフト] 機能の追加

撮影設定メニュー（☞P.61）に [シャッタースピード自動シフト] 機能が追加されました。

S（シャッタースピード優先）モード（☞P.49）で、[シャッタースピード自動シフト] を [ON] に設定すると、露出オーバーまたは露出アンダーの場合、カメラが自動的に適正露出が得られるようシャッタースピードを調整します。

☒ メモ

モードダイヤルを S 以外に合わせているときは、撮影設定メニューに [シャッタースピード自動シフト] は表示されません。



13 [トリミング] 機能の追加

再生設定メニュー（ⓂP.107）に [トリミング] 機能が追加されました。[トリミング] では、撮影した静止画をトリミングし、別のファイルとして記録することができます。



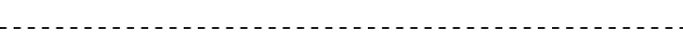
再生設定メニューで [トリミング] を選択し、▶ ボタンを押すとトリミング画面が表示されます。トリミングするには、Q ボタンまたは Ⓜ ボタンを押してトリミング枠の大きさを指定し、▲▼◀▶ ボタンでトリミング枠の位置を指定します。MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の画像が記録されます。

注意

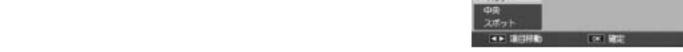
- トリミングできるのは、本カメラで撮影した静止画です。
- 動画、RAW モードで撮影した画像はトリミングできません。
- トリミングを繰り返し実行すると画像を再圧縮するため、画質は劣化します。

メモ

- トリミングをキャンセルしたい場合は、DISP. ボタンを押します。
- トリミング位置を指定する画面で Fn2 ボタンを押すと、操作方法の説明画面が表示されます。再度 Fn2 ボタンを押すと、元の画面に戻ります。
- トリミング位置を指定する画面で ADJ. レバーを押すと、トリミング枠の縦と横の比率を変更できます。トリミングできる縦横比は 4:3 または 1:1 です。3:2 にはトリミングできません。
- トリミングすると、画像の圧縮率はすべて Normal になります。
- 指定できるトリミング枠の大きさは、元画像のサイズによって異なります。



セットアップメニュー（ⓂP.132）のキーカスタム設定タブに [ADJ. レバー設定 5] 機能が追加されました。ADJ. モード（ⓂP.142）で、最大 5 つの機能を登録できます。[ADJ. レバー設定 5] の初期設定は [測光] です。



15 [ADJ. レバー設定] 機能の変更

キーカスタム設定タブ（ⓂP.132）の [ADJ. レバー設定 1] ～ [ADJ. レバー設定 5]（ⓂP.141）で、シーンモードでも機能を使用できるようになりました。各モードで設定できる項目は以下の表のとおりです。

設定項目	Ⓜ、P、S、A	M	シーンモード						参照先
			DR	Ⓜ/WB	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	
OFF	○	○	○	○	○	○	—	—	—
露出補正	○	—	○	○	○	○	—	—	P.93
ホワイトバランス	○	○	○	—	○	○	—	●	P.94
WB 補正	○	○	○	—	○	—	—	●	P.98
ISO	○	○	○	○	○	○	—	—	P.100
画質	○	○	○	○	○	○	—	●	P.65
フォーカス	○	○	○	○	○	○	—	●	P.67
画像設定	○	○	○	—	—	○	—	—	P.77
測光	○	○	○	○	○	○	—	—	P.76
連写	○	○	—	—	—	—	—	—	P.80
オートブラケット	○	○	—	—	—	—	—	—	P.83
調光補正	○	○	—	○	○	○	—	—	P.87
マニュアル発光	○	○	—	○	○	—	—	—	P.30
文字濃度	×	×	×	×	×	×	●	×	P.59

○：設定できます。

—：設定はできませんが、実際には動作しません。

●：機能が固定されており、項目の変更はできません。

×：設定項目として表示されません。

- トリミング後の画像サイズは、元画像のサイズと、トリミングの段階（トリミング枠の大きさ）によって決まります（[トリミング] 画面で最初に表示されるトリミング枠は、2段階目です。Ⓜ ボタンを押すと、1段階目の枠（最大枠）になります）。

元画像のサイズ	縦横比 4:3 の場合		縦横比 1:1 の場合	
	トリミングの段階	トリミング後の画像サイズ	トリミングの段階	トリミング後の画像サイズ
F3648(10M) N3648(10M)	1	3264 × 2448	1～3	2304 × 2304
	2、3	2592 × 1944	4～6	1536 × 1536
	4～6	2048 × 1536	7～9	960 × 960
	7～9	1280 × 960	10～13	480 × 480
F3:2(9M) N3:2(9M)	1、2	2592 × 1944	1、2	2304 × 2304
	3～5	2048 × 1536	3～5	1536 × 1536
	6～8	1280 × 960	6～9	960 × 960
	9～12	640 × 480	10～13	480 × 480
F1:1(7M) N1:1(7M)	1、2	2592 × 1944	1～3	2304 × 2304
	3～5	2048 × 1536	4～6	1536 × 1536
	6～8	1280 × 960	7～9	960 × 960
	9～12	640 × 480	10～13	480 × 480
N3264(8M)	1	3264 × 2448	1、2	2304 × 2304
	2	2592 × 1944	3～5	1536 × 1536
	3～5	2048 × 1536	6～9	960 × 960
	6～9	1280 × 960	10～13	480 × 480
N2592(5M)	1	2592 × 1944	1～3	1536 × 1536
	2、3	2048 × 1536	4～7	960 × 960
	4～7	1280 × 960	8～11	480 × 480
	8～12	640 × 480		
N2048(3M)	1、2	2048 × 1536	1、2	1536 × 1536
	3～6	1280 × 960	3～6	960 × 960
	7～10	640 × 480	7～10	480 × 480
N1280(1M)	1～3	1280 × 960	1～3	960 × 960
	4～8	640 × 480	4～8	480 × 480
N640(VGA)	1～4	640 × 480	1～4	480 × 480



16 [Fn1 ボタン設定] / [Fn2 ボタン設定] に登録できる機能の追加

Fn（ファンクション）1 または Fn2 ボタンに登録できる機能として、[AF/ 被写体追尾] が追加されました。[フォーカス]（ⓂP.67）でフォーカス方法をマルチ AF またはスポット AF、被写体追尾 AF に設定している場合、フォーカス方法をマルチ AF と被写体追尾 AF、またはスポット AF と被写体追尾 AF に切り替えられます。

Fn1 または Fn2 ボタンに登録できる機能は、以下のとおりです。

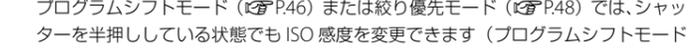
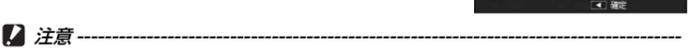
設定項目	Ⓜ、P、S、A	M	シーンモード						参照先
			DR	Ⓜ/WB	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	Ⓜ	
AF/MF	○	○	○	○	○	○	—	○	P.144
AF/ スナップ	○	○	○	○	○	○	—	○	P.144
AF/ 被写体追尾	○	○	—	—	○	—	—	—	—
AE ロック	○	—	○	○	○	○	—	○	P.144
JPEG → RAW	○	○	—	—	—	—	—	—	P.144
カラー→白黒	○	○	○	—	—	○	—	—	P.144
カラー→TE	○	○	○	—	—	○	—	—	P.144
露出補正	○	—	○	○	○	○	—	—	P.93
ホワイトバランス	○	○	○	—	○	○	—	○	P.94
WB 補正	○	○	○	—	○	—	—	○	P.98
ISO	○	○	○	○	○	○	—	—	P.100
画質	○	○	○	○	○	○	○	○	P.65、105
フォーカス	○	○	○	○	○	○	—	○	P.67
画像設定	○	○	○	—	—	○	—	—	P.77
測光	○	○	○	○	○	○	—	—	P.76
連写	○	○	—	—	—	—	—	—	P.80
オートブラケット	○	○	—	—	—	—	—	—	P.83
マクロターゲット	○	○	○	○	○	○	○	○	P.72
調光補正	○	○	—	○	○	○	—	—	P.87
マニュアル発光	○	○	—	○	○	—	—	—	P.30
セルフタイマー	○	○	○	○	○	○	○	—	P.32

○：設定できます。

—：設定はできませんが、実際には動作しません。

17 [ADJ. ISO ダイレクト変更] 機能の追加

セットアップメニュー（ⓂP.132）のキーカスタム設定タブに [ADJ. ISO ダイレクト変更] 機能が追加されました。[ON] に設定すると、撮影が可能な状態のときに ADJ. レバーを左右にたおして ISO 感度（ⓂP.100）を変更できます。ご購入時の初期設定は [OFF] です。



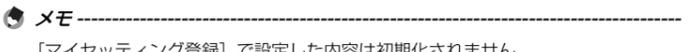
注意-----プログラムシフトモード（ⓂP.46）または絞り優先モード（ⓂP.48）では、シャッターを半押ししている状態でも ISO 感度を変更できます（プログラムシフトモードでは、シャッターボタンを半押しした後に指を離して絞り値とシャッタースピードが表示されている状態でも変更できます）。上記の場合、一度 ISO 感度を変更すると [AUTO]、[AUTO-HI] には戻せません。

18 [マイセッティング削除] 機能の追加

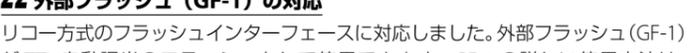
セットアップメニュー（ⓂP.132）のキーカスタム設定タブに [マイセッティング削除] 機能が追加されました。[マイセッティング登録] の [マイセッティング BOX] および、モードダイヤルの [MY1]、[MY2]、[MY3] に登録した設定を削除できます。

19 [キーカスタム設定初期化] 機能の追加

セットアップメニュー（ⓂP.132）のキーカスタム設定タブに [キーカスタム設定初期化] 機能が追加されました。キーカスタム設定タブの設定メニュー項目内容を初期化できます。



メモ-----[マイセッティング登録] で設定した内容は初期化されません。



22 外部フラッシュ (GF-1) の対応
リコー方式のフラッシュインターフェースに対応しました。外部フラッシュ (GF-1) が TTL 自動調光のフラッシュとして使用できます。GF-1 の詳しい使用方法は、GF-1 の使用説明書や「外部フラッシュ (GF-1) を使う」(ⓂP.198) を参照してください。

フラッシュモードは、⚡（フラッシュ）ボタンを押して切り替えられます（マニュアル発光モードへは切り替えられません）。マニュアル発光モードへの設定は、GF-1 を操作して設定してください。フラッシュの発光量は、撮影設定メニュー（ⓂP.61）の [フラッシュマニュアル発光量]（ⓂP.88）で設定できます。

23メタルレンズキャップ (GL-1) の対応

別売り品のメタルレンズキャップ (GL-1) に対応しました。レンズを保護するとともに、誤って電源がオンにならないようにします (GL-1 を装着したままソフトケースに収納することはできません)。GL-1 の詳しい使用方法は、GL-1 の使用説明書を参照してください。



24 その他の変更点
[インターバル撮影]（ⓂP.91）時は、外部フラッシュを接続していても発光しません。内蔵フラッシュを使用してください。

20 [ISO AUTO-HI 設定] 機能の変更

セットアップメニュー（ⓂP.132）の [ISO AUTO-HI 設定]（ⓂP.151）の設定項目が変更されました。[上限 ISO 感度] と [切り替えシャッタースピード] が設定できます。



設定項目	内容
上限 ISO 感度	ISO 感度を [AUTO-HI] に設定した場合の上限感度を、AUTO 200、AUTO 400、AUTO 800、AUTO 1600 から設定できます。
切り替えシャッタースピード	自動的に ISO 感度が上がりはじめるシャッタースピードの下限を、AUTO または 1/2 ～ 1/250 の間で設定できます。



注意-----シャッタースピードを手動で設定した場合、ISO 感度は [切り替えシャッタースピード] の設定にかかわらず、[上限 ISO 感度] で設定した上限まで動作します。

21 [WB 手動設定 取込エリア] 機能の追加

セットアップメニュー（ⓂP.132）のセットアップタブに [WB 手動設定 取込エリア]機能が追加されました。ホワイトバランスを手動設定する場合に（ⓂP.96）、ホワイトバランスの基準として読み取るエリアを設定できます。

設定項目	内容
全域	画像モニターに表示されるすべての部分を読み取って、ホワイトバランスを設定します。
スポット	画像モニターに表示される枠内の部分を読み取って、ホワイトバランスを設定します。

[スポット] を選択すると、[ホワイトバランス] から [M] を選択した場合に、画像モニター中央に枠が表示されます。紙などの白い被写体が枠内に入るようにカメラを向け、DISP. ボタンを押してください。詳しい手順は「ホワイトバランスを手動設定する（手動設定）」（ⓂP.96）を参照してください。

